

男女共同参画の視点で女性たちが協力し合いエンパワーメントできる様な関係をイメージして名付けました。

シスターフッド

第 76 号(2025.9)



豊橋女性連絡会とは

女性の多様な活動が広がる中で、互いに切磋琢磨し、その持てる力を社会に向けて発揮していくことを目指しています。

「協働と共生」で様々な課題に取り組みながら、女性団体同士の交流を深めています。

令和 7 年度参加団体

わっぱの会、とよはし未来を拓く会、豊橋おやこ劇場協議会、東三にじの会、
新日本婦人の会豊橋支部、とよはし女性フォーラム、NPOとよはしCAP、
ハッピーグループ、NPO まんま、豊橋商工会議所女性会、農村輝きネット・東三河、
ラ・ポール、JA 豊橋女性部会(休会)

➤ 令和 7 年度 豊橋女性団体連絡会がスタートしました

今年度の役員は下記の方です。

会長 夏目美鈴さん（とよはし未来を拓く会）

副会長 鈴木節子さん（ラ・ポール）

副会長 石田容子さん（わっぱの会）

一年間、よろしくお願いします。

本年 2025 年は、「昭和 100 年」という歴史の節目の年。

そして豊橋女性団体連絡会が、その前身の活動も含めて 80 周年を迎える年でもあります。

戦後の復興期から今日まで、男女共同参画社会の実現を目指し、女性の学びと活動の場を築き、発展させてこられた多くの先輩方のおかげで、今の私たちがあります。その長きにわたるご尽力に、心より敬意と感謝を申し上げます。私たちもその志を受け継ぎ、未来へと確実につなげてまいります。

政治や経済の情勢が大きく変化する今こそ、女性の力を結集し、共に支え合うことが求められています。

同時に、各団体が抱える大きな課題は高齢化です。歴史を振り返りつつ、これからを担う若い世代にいかに参加を呼びかけ、共に活動を広げていくのか――。

その問いを皆さまと共に考え、取り組んでいく一年にしていまいりましょう！

会長 夏目美鈴

➤ 豊橋女性団体連絡会学習会 2025/7/16 パルモ 2 階・研修室にて
とよはし女性フォーラム代表の鈴木真理子さんに講師を依頼し学習会を開催いたしました。



豊橋市の女性活動は、昭和 21 年（1946 年）に開催された講座から始まりました。当時は、女性に選挙権を持つようになって間もない時代。そんな中で、女性たちが学び、語り合う場が設けられたことは、社会の新たな一步を踏み出す象徴的な出来事でした。

その後、女性たちは家庭や地域の枠を越えて、さまざまな分野で活躍の場を広げていきました。かつては 30 を超える女性団体が登録され、地域の課題に向き合いながら、学びと連帯の輪を広げていました。

現在では、登録団体は 12 にまで減少しています。この変化は、高齢化だけではなく、活動のかたちが多様化し、個人での参加や新しいつながり方が増えてきたことの表れなのでしょうか。しかし、今もなお活動を続ける団体の存在は、地域に根ざした力強い灯火です。

過去の努力に敬意を払いながら、未来への希望をつないでいきたいと強く感じた講座でした。

➤ 男女共同参画街頭啓発

2025/6/25 豊橋駅東口・南口ペDESTロリアンデッキ

『男女共同参画社会基本法』の公布・施行日である平成 11 年 6 月 23 日を踏まえ、毎年 6 月 23 日から 29 日までの 1 週間を『男女共同参画週間』として定めています。様々な取組を通じ、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指して、豊橋市での街頭啓発は今年で 3 回目。東口・南口ペDESTロリアンデッキの 2 カ所に分かれて 8 団体 9 名、事務局 7 名で、メッセージ貼付したウェットタオル『ワーク・ライフ・バランス編』、『アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）編』計 400 個を配布しました。



日本のジェンダーギャップ指数は 2025 年は 148 カ国中 118 位。『教育』と『健康』は世界トップクラスですが、『政治』と『経済』の値が低いことが特徴です。

この街頭啓発は男女共同参画を考える一つのきっかけにもなり、意義ある行動だと思っています。

🌟 ワーク・ライフ・バランス 🌟

- 職場は育児休業・休暇を取りやすい雰囲気ですか
- 職場はなるべく残業せず、早く帰ろうという雰囲気ですか
- 家族と過ごす時間を確保できていますか

一人一人が意識して、仕事もプライベートも充実できる、誰もが働きやすい職場作りを進めましょう！

豊橋市市民協働推進課

ホームページ



6月23日～29日は
男女共同参画週間です！！

働き方と休み方について、考えてみませんか？

アンコンシャス・バイアスとは「無意識の思い込み」のこと

- 組織のリーダーは男性の方が向いている
- 家事・育児は女性の方が向いている
- 男性は家庭よりも仕事を優先するもの
- 普通、育児休暇を取るのは女性

これらはすべて「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」です。これにより自分や周囲の活躍の機会を奪ってしまうかもしれません。「アンコンシャス・バイアス」に気づき、誰もが自分らしく活躍できる職場を作りましょう！

（配布したメッセージ）

➤ 令和1年度 豊橋女性団体連絡会事務局 職員のご紹介

日頃より豊橋女性団体連絡会の活動を支えてくださる、豊橋市役所市民協創部・市民協働推進課、豊橋女性団体連絡会事務局の皆様より、近況コメントをいただきました。

共に豊橋市の女性活躍推進をリードする、職員の皆様です。

お名前	職位	近況コメント
兵道 邦央	市民協働推進課長	バイクで全県訪問という野望がありましたが、近頃は新幹線や飛行機の良さがわかってきました。
文野 耕太郎	課長補佐	休日に山歩きやロードバイクでサイクリングするのが楽しみです。
柘植 優子	主査	中学生の息子が吹奏学部で自分と同じテナーサックスを始め、わくわくしています。
高橋 菜那衣	主事	動物が好きです。犬カフェにはまっています。
中山 和正	男女共同参画センター長	セカンドキャリアがスタート

一年間、よろしくお願いします。

【奥付】豊橋女性団体連絡会広報誌シスターフッド

2025年9月24日発行

編集・発行担当者 朝倉三恵（東三にじの会）・

水谷津太枝（新日本婦人の会豊橋支部）

大谷靖子（豊橋おやこ劇場協議会）

